

会報



# 緑のまち

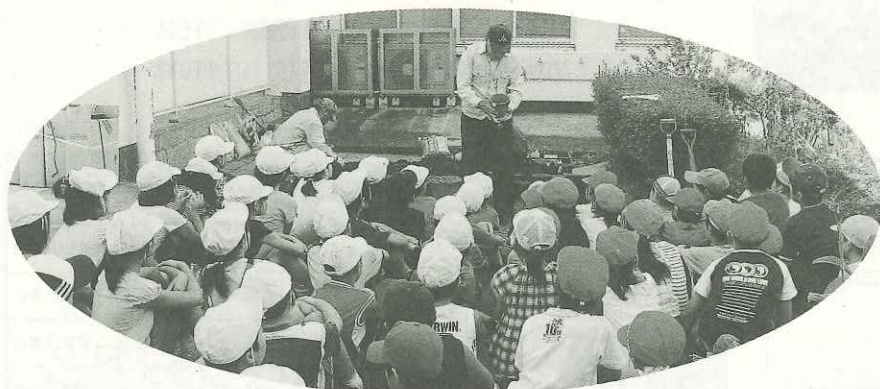
みどり豊かにかおる、  
我がまち日野

次世代に引き継ごう ー緑のまちー

発行 財団法人 日野市環境緑化協会

〒191-0016 東京都日野市神明2-13-1 電話 042(585)4740

URL <http://www.hinoryokka.org/>



菊苗を植付ける子どもたち



市内の小学校、15校に菊苗約2,700本の配布を行い、子どもたちに育ててもらい、緑の大切さを感じていただいております。

菊花展には子どもたちが育てた菊のコンテストを行い、子どもたちの励みにしております。

また、市内小学校の4年生・5年生・6年生には環境に関する作文を約3,400編の応募をいただき、作文集の編集も行っております。



菊苗を育てる日野市環境緑化協会（苗圃）



菊苗を植付ける子どもたち

理事長あいさつ



武貞建男

財団法人日野市環境緑化協会は昭和64年1月に発足し、今年で23年を迎えます。日野市内の環境向上を図ることを目的とする当協会は、緑化推進のために様々な啓発・普及事業を行っております。

中でも「スプリングフェスタひの」には多くの市民が来場され、緑化に関する意識を深めていただいております。また、緑のリサイクル、ガーデニングコンテスト、作文集や各種講習会などにも多数参加していただいております。

秋には当協会で栽培した菊苗一万数千本を市民一般や老人クラブ、小学校の皆さまに育てていただき、菊花コンテストを実施して来しました。

今後も引き続き皆さまのご協力をいただき、次世代に残せる緑化活動を行い、日野市の環境向上に努めてまいりますので、緑化協会をよろしく願いたします。

# 菊花展

市の花「菊」、今年も夏に配布したポットマム・スプレー菊が市民の方々の手によって育てられ、皆さまの目を楽しませてくれました。また、市で育てた古典菊・盆養など多種にわたり展示しました。



## 配布苗菊花コンテスト

平成23年10月26日(水)～11月4日(金)

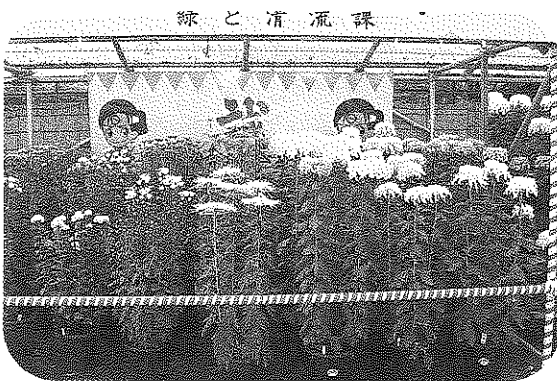
8月20日市民配布、8月25日老人クラブ配布、9月6日小学校に配布を行い、それぞれが丹精込めきれいに咲かせた作品を市民一般の部・小学校の部・老人クラブの部に分け展示しました。

応募総数	市民一般の部	43名	71鉢
	老人クラブの部	9団体	115鉢
	小学校の部	11校	110鉢

## 大菊・古典菊の展示

平成23年10月25日(火)～11月21日(月)

大菊や古典菊（嵯峨菊・肥後菊・江戸菊）など珍しい菊約100点を展示しました。



### 平成23年 配布苗菊花コンテスト表彰者一覧

(敬称略)

賞名	市民一般の部			老人クラブの部		小学校の部
	ポットマムの部	スプレー菊の部	大菊の部	P・S菊の部	大菊の部	
日野市長賞	芹沢美栄子	小島 長蔵		川北クラブ	悠悠クラブ	東光寺小学校
日野市議会議長賞	杉本 祥子	杉山 幹雄		久和の美会	久和の美会	第四小学校
日野市教育委員会委員長賞						第二小学校
勸日野市環境緑化協会理事賞	富沢 栄子	猿野 英一	小島 長蔵	悠悠クラブ		仲田小学校
日野市老人クラブ連合会長賞				中部長生会		
日野市菊友会長賞	富沢 巽	増澤 悠				
東京南農業協同組合組合長賞	山本 正子	阿川 勉		程久保長生会		
入選 勸日野市環境緑化協会	小島 長蔵	山本 寛		四谷永寿会	川北クラブ	第三小学校
	船木ます子	富沢 栄子		豊寿会		
	宮川 利男	宮川 利男				
	西久保修治	山鼻 茂子				

## 日野市菊友会

平成23年10月29日(土)～11月6日(日)

盆養・福助・切り花など、約120点を展示しました。



## 表彰式

平成23年11月4日(金) 午後3時30分～

晴天のなか、市民プラザで盛大に表彰式が行われました。



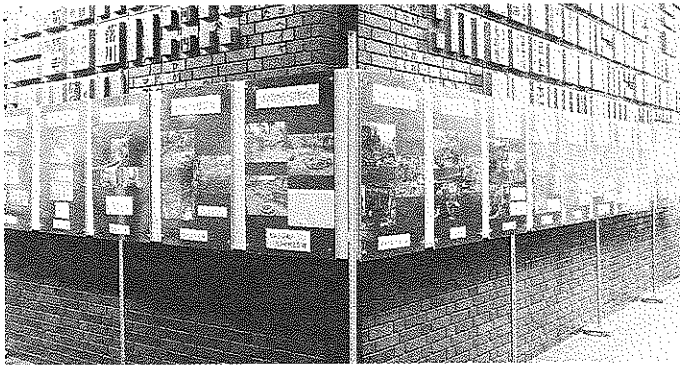
# 第7回 ガーデニングコンテスト

環境に配慮した緑と花のあるまちづくりを目指すため、ガーデニングコンテストを始めて今年で7回目を迎えました。手入れの行き届いた花いっぱいのお庭や生垣などの写真を多数応募いただきました。

6月5日(日)日野市民ふれあい福祉まつりの中で表彰式を行い、6月6日～6月16日まで日野市役所1階市民ホールで写真展を行いました。

是非、来年も多くの方々のご参加を職員一同お待ちしております。

- 審査員
- ・熊沢 僑一郎 (日野緑進会)
  - ・濱田 豊 (NHK「趣味の園芸」講師)
  - ・大塚 眞実 (グリーンアドバイザー)



表彰者一覧表 (敬称略)

賞名	氏名
日野市長賞	中村 臣子
日野市議会議長賞	菅 沼 紀美子
財団法人日野市環境緑化協会 理事長賞	日野市立第四中学校 ガーデニングサークル
審査員特別賞	相田 俊夫
	瀬 沼 當子
	星 タキ子

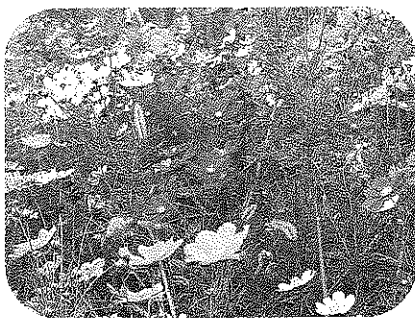
## コスモスアベニュー

平成23年6月19日(日)に浅川スポーツ公園外周で日野市と共催で第14回コスモスアベニュー事業を開催しました。

当日は、あいにくの梅雨空でありましたが、28団体、278名におよぶ多くの市民の皆さんに参加していただき、盛大なコスモスの種まきイベントとなりました。



6月19日(日) 参加者種まき



10月19日(水) 現地の開花状況

市民の皆さんにより、コスモスの種まきを実施した現地の状況は、9月に上陸した台風の強風によって倒されてしまったりと残念なこともありましたが、色鮮やかに綺麗な花が咲き頃を迎えており写真を撮ったり、散歩する親子のすがたなどが見受けられました。

# 平成23年度 事業実績

## 緑のリサイクル

4月23日(土)緑化協会前にて開催された「緑のリサイクル」は、ご家庭で増えすぎて不要になった植物を必要な方に育ててもらうものです。

今年は33名の方にご提供いただき、162種類903点の植物が集まり294名の方に配布しました。

## 大菊の育て方講習会

7月20日(水)日野市菊友会の志村進一氏を講師に迎え、緑化交流センターにて講習会を行いました。菊の植付け方や肥料、Bナインの与え方、病害虫の防除などについて教えていただきました。

参加者には今年の大菊コンテスト用の大菊苗を配布しました。



## ポットマム・スプレー菊の育て方講習会

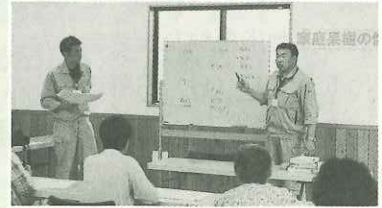
ポットマム・スプレー菊の市民配布に先立ち、8月4日(木)日野市菊友会の西野正人氏を講師に迎え、緑化交流センターにて講習会を行いました。市民及び学校、老人会等からたくさんの方が参加され、育成成果を菊花コンテストに出品し発表してくださいました。



## 家庭果樹の健康管理講習会

5月18日(水)緑化交流センターにて、東京南農業協同組合職員2名を招いて講習会を行いました。

親しみやすい身近な果樹について剪定の時期や病害虫防除、肥料管理について教えていただきました。



## 子ども昆虫教室

7月23日(土)南平丘陵公園にて、日野の自然を守る会の森川正昭氏と日本昆虫学会の高橋秀男氏を講師に迎え、昆虫教室を行いました。

昆虫が少なくなった中、珍しい種類のアミメカゲロウ目や外来種の蝶々を採取する事ができました。



## 庭木の手入れ講習会

緑化交流センターにて10月5日(水)日野緑進会より講師を招き、講習会を行いました。

庭木の剪定、肥料の与え方、季節の管理、病害虫の防除等について教えていただきました。

整枝、剪定を行うには、木の特性や生育サイクルをよく知るののポイントだそうです。



秋 キク



冬 ハボタン



冬 ノースポール



## 花の交流広場

緑化協会の事務所では市民の皆さまの善意により、花の種子を配布しています。お気軽にお立ち寄り下さい。



## 花 いっぱいの花壇



市役所横グリーンベルト

**豊**かな緑、美しい花は私たちの暮らしに欠かせません。

協会では花壇愛護会・花壇ボランティアなどたくさんの市民の方々にご協力をいただき、公園、グリーンベルト、公共施設等91カ所の花壇やプランターの維持管理を行っています。

**草**花などに関心のある方ボランティア活動と一緒に市内の公園等を花いっぱいに見ませんか！

興味のある方はご相談ください。



日野中央公園

## 緑の募金報告

今年も例年通り4月・5月を推進月間として取り組んでまいりました。景気低迷や震災が発生した中、自治会・老人クラブ・各事業所等をはじめ、多くの皆様の緑化に対する深いご理解とご協力により、たくさんの募金が集まりました。

この募金は、東京緑化推進委員会に納入し、森林整備事業や地域緑化の促進等に使われるほか、一部は当協会にも還元され、市内公共施設や公園等の花壇への花卉植付けなどに役立たせていただきます。

たくさんのご協力、ありがとうございました。

### ●募金総額 1,884,780円

<内訳>

自治会	907,197円
老人クラブ	119,578円
市立小・中学校	19,527円
私立幼稚園・私立保育園	52,347円
団体・事業所	499,559円
一般・街頭募金	148,227円
市役所機関	138,345円

### 寄付

緑化協会では全国規模で行われる「緑の募金」とは別に、年間を通じて寄付の受け付けをしています。いただいた寄付金は、日野市内の緑化推進のために役立てています。

<平成23年度寄付金>

(10月末日現在)

匿名男性様 5,000円

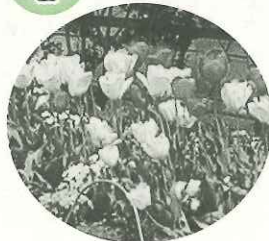
この他にも緑化協会事務所内の募金箱にたくさんのご好意が寄せられています。

ありがとうございます。

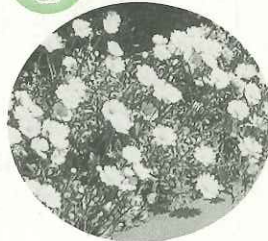
### 市内の花壇の四季

緑化協会では、市内91カ所の花壇に四季折々の花々を植付けしています。綺麗な花が咲くように、水やり・草取りなど、市民の皆さまにもご協力を呼び掛けています。

**春** チューリップ



**春** ムルチコレー



**夏** コリウス



# 作文集「緑のまち」

市内の小学生四、五、六年生を対象に募集した作文「緑のまち」に三、四〇八名の児童から応募がありました。

学年別では四年生・一、〇六七名、五年生・一、三二二名、六年生・一、一一〇名でした。この中から、七名の審査委員の審査により入選作二二五編が選ばれました。ここに優秀賞の中から三作品と、審査をしていたいただきました審査委員長の見解を掲載します。

なお、入選作二二五編とカット八九作品については、別に作文集として発行します。

## バッタの願い

南平小学校

四年 渡辺颯太

二年前の十二月の、ある寒い夜、僕の家が変わったお客さんが来た。それは人間ではなく、一ぴきのバッタだ。いつものように仕事から帰ってきた母さんが大急ぎでせんたく物を取りこみ、それをたたもうとした時のこと。ピンクの花がらのタオルをパッとひろげたら、茶色い大きな物がドサッと落ちた。悲鳴をあげた母さんの前をスローモーションで動いていたのは、最近ではめづらしいメガサイズのバッ

タだった。だんぼうのきいたあたたかい部屋で少しづつ元気になるバッタ。僕はだんボールの小屋を作り、毎日さつ草を植えたトレーを入れかえ、僕のバッタくんを一日一回、思いっきり部屋でとばしてやった。

僕がバッタを好きになったのは、二才の時、この日野市に引っ越してからだ。母さんが育ったこの土地で、僕は自然とふれ合い、そこに住む生きものが大好きになった。毎日のように浅川に出かけ、手で魚をとったり、緑の草原でバッタをつかまえた。セミやトンボ、チョウの他に、カメ

やナマズ、ドジョウに川とんぼのヤゴ、運がいいとカワセミやキジにも会えた。一度などは、大きな青だいしようと一メートルのきよりで向かい合い、おたがいにいびっくりしてにげたこともあった。

でも、それも去年までの話。今年はまだ川遊びには行ってない。僕が走り回っていた緑の草原は、ブルドーザーが入り、石とすなのまじった茶色い広場が変わったのだ。何千何万というバッタ達と、土の中のそのたまご。ほとんど全めつだと思っただ同じ場所に、三週間後、緑のうぶ毛のような草が生え始めた。生命の力強さを感じた。なぜか、東日本大震災のことが、この広場と重なってしまった。

僕のバッタくんは七月まで生きて、今はベランダのひいらぎの根元に眠っている。バッタクんの子孫のために僕は緑を大切にしようと思う。未来は僕達の手の中にあるのだから。

「ねえ、見て見て。また来ているよ。」

そういう母の指差す方を見ると、やせたこげ茶色の動物が、丸くなって昼ねをしています。た。ぼくは、それが、野生のタヌキであることが、すぐに分かりました。

「また来たね。」

ひさびさの再会でうれしくなり、ぼくは母にはずんだ声で言いました。

ぼくが、初めてタヌキに出会ったのは、去年の六月です。家のうらの草地で祖母とふきを採っていました。ぼくと祖母がいる所から数メートルはなれた所に、何か動物がじっとしているのがわかりました。

「何だろう。こんな所にいるなんてめづらしいな。」

とぼくが言うと、祖母が「タヌキだよ。」と教えてくれました。ぼくは、ドキドキしながら近づいてみました。すると、タヌキはすぐににげてしまいました。それから何度か、やわらかな草地の辺りで丸くなってい

## タヌキのすみか

平山小学校

五年 設楽竜士

「ねえ、見て見て。また来て

いるよ。」

そういう母の指差す方を見ると、やせたこげ茶色の動物が、丸くなって昼ねをしています。た。ぼくは、それが、野生のタヌキであることが、すぐに

分かりました。

「また来たね。」

ひさびさの再会でうれしくなり、ぼくは母にはずんだ声で言いました。

ぼくが、初めてタヌキに出会ったのは、去年の六月です。家のうらの草地で祖母とふきを採っていました。ぼくと祖母

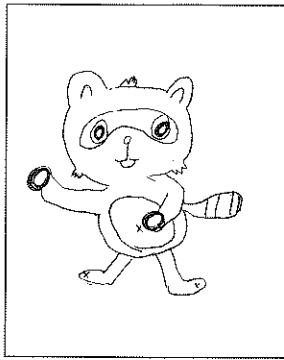
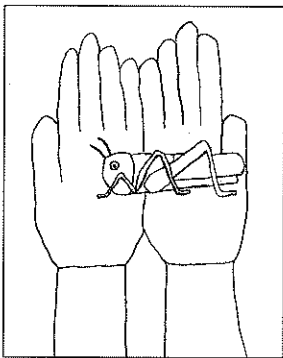
がいる所から数メートルはなれた所に、何か動物がじっとしているのがわかりました。

「何だろう。こんな所にいるなんてめづらしいな。」

とぼくが言うと、祖母が「タヌキだよ。」と教えてくれました。ぼくは、ドキドキしながら近づいてみました。すると、タヌキはすぐににげてしまいました。それから何度か、やわらかな草地の辺りで丸くなってい

るすがたを見かけました。そして、一度だけ写真をとることに成功しました。びっくりさせないように、そっと静かに近づいていきました。するとタヌキは、じっとしたままぼくのほうをむいて、写真をとらせてくれました。その時の写真は、ぼくの宝物です。思い出のタヌキと再会し、うれしい反面、心配なことがあります。それは、去年は、二ひきで仲良く昼ねしていたのに、今年は一ぴきだけだったことです。

ぼくの家は、草が多く緑がいっぱいです。母は、もっとキレイにしたほうがいいと言いますがぼくはちがいます。草が多くてぼうぼうでも、タヌキたち生き物にとっては、大切な自然のすみかだと思えます。いつまでもタヌキが住める環境を守りたいです。

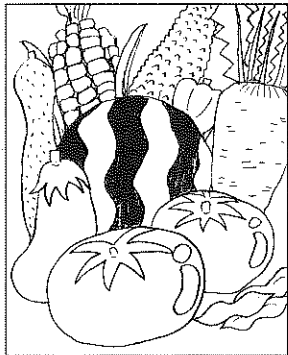


## 日野市のおいしい野菜をいつまでも

日野第一小学校

六年 村山 なな

私のおじいちゃんは定年後、一年間日野市で農業を勉強して、今は仲間の方たちといっしょに野菜を作っています。毎日のように持ってきてくれる野菜はどれも新鮮でおいしいです。その中でも私はトマトが大好きです。みずみずしい真っ赤なトマトはとてもあまくて丸かじりが最高です。今年はおじいちゃんに教わりながら、私の家でもなす、トマト、オクラを育ててみました。これがなかなかむずかしく、と中でかれてしまったり、虫がついたりしました。でも自分が作った野菜はおいしかったです。野菜を作るのは大変なんだなと感じました。私たちの喜び顔を見たくて、がんばって野菜を作ってくれるおじいちゃんはすごいなと思いました。



くさんあること、その野菜がこんだてにいっぱい使われていることにびっくりします。旬の野菜は栄養たっぷりです。にも良いし、農家の人も喜ぶと思います。

農業がさかんになれば、日野の緑を守ることにつながると思います。しかし、農業の方の高齢化や後継者が少ないなど、いろいろ問題もあると思います。まずは私ができること、作ってくれた方への感謝の気持ちを忘れずに旬の野菜や果物を残さず、しっかり食べたいと思います。また、畑や自然を守るために空き缶やペットボトルなどのポイ捨てをする人がいなくなっほしいです。自分のごみは、自分で持ちかえるなど、ごみを増やさないようにします。私が増やさないように、ずっと日野の緑が続くように、考えていきたいと思っています。

## 思いを通わせる「ごんから」

審査委員長

日野市立東光寺小学校長 垣内 成剛

「緑のまち」の作文を審査していて、気づくことがあります。本日に日野市は、自然が豊かであるということですね。日野市には、日野台地や多摩丘陵やそれを囲むように緑地もたくさんあります。さらに各学校の雑木林や中央公園などたくさん公園も整備されています。そこには、木や植物がたくさん生きています。その木や植物を餌にしている昆虫や鳥、小動物が住んでいます。

皆さんの住んでいる家の近くの緑地や公園に出かけて行って、木や植物をじっくりと観察することは、とても大切なことです。木や植物のところどころに何度も通ってみるうちに木や植物から、教わるのがたくさんあります。松尾芭蕉は、「松のことは松に習え、竹のことは竹に習え」と言っています。私たちは、松や竹のこととは、知っていると思っ

て、知っていると知っていませんが、本当の松や竹のことを知る人は、少ないのです。

松を愛し、竹を愛して、長く見守り続けることができたことを学ぶことができます。児童の皆さんには、まず、身近な木や植物に思いを通わせてほしいと思います。そうすることで、木や植物や周りの生き物に関心を持ち、思いを通わせることで、疑問に思ったことを解決するために調べ合うことで自然から教わるものがたくさん出てきます。そして、思いを通わせたことを思い切り作文に書くことが良い作文につながります。

また、日野市には、大きな多摩川や浅川や程久保川などがあります。昔、日野は「多摩の米蔵」と呼ばれたように「八丁田んぼ」といわれるほど広い田んぼも作られました。田んぼに水を引くために人間の血管のように用水を張り巡らしています。用水は、昔の人たちの知恵と汗で作られています。昨年、用水のクリー

ン作戦に参加した時、よそう森公園の近くの農家の方から用水にシジミがいることを教わりました。三〜四ミリの小さなシジミがいっぱいいました。メダカやフナは、よく見かけますが、貝などの生きものが住んでいることにびっくりしました。さらに東光寺小学校の児童は、東京薬科大学の先生や学生さんに教えてもらって、これまでに十一年間用水の水質検査をしています。毎年、用水の水質がきれいになっていくという良い結果が出ています。

東日本大震災の津波で、岩手県の陸前高田の松林が壊滅しました。一本残った松から松を増やし、元の松林にするプロジェクトが始まっています。日野市でも第五次日野市基本構想が作られ、水と緑を受け継ぎ、日野市民にとって、住みよいまちとなることを目指しています。児童の皆さんが、大人になったとき日野市に豊かな自然が残っているように日野市民にとって、住みよいまちになるように、自分にできることから始めましょう。

## 《平成22年度 決算額》

	科 目	平成22年度決算額 (円)
収入の部	基本財産運用収入	613,643
	事業収入	994,440
	補助金等収入	29,065,902
	寄附金収入	1,117,603
	雑収入	2,912
	前期繰越(収支差額)	4,439,016
	収入合計	36,233,516
支出の部	科 目	平成22年度決算額 (円)
	普及啓発費	1,702,368
	事業活動費	8,515,871
	調査研究費	0
	受託事業費	8,604,275
	管理費	13,670,685
	予備費	0
支出合計	32,493,199	

## 《平成23年度 予算額》

	科 目	平成23年度予算額 (円)
収入の部	基本財産運用収入	320,000
	事業収入	800,000
	補助金等収入	29,300,000
	寄附金収入	1,001,000
	雑収入	2,000
	前期繰越(収支差額)	1,500,000
	収入合計	32,923,000
支出の部	科 目	平成23年度予算額 (円)
	普及啓発費	1,832,000
	事業活動費	7,712,000
	調査研究費	1,000
	受託事業費	8,624,000
	管理費	14,454,000
	予備費	300,000
支出合計	32,923,000	

## 平成23年度 今後の事業予定

### 緑の写真展

平成23年12月12日(月)～20日(火)開催

展示場所：日野市役所1階市民ホール

(日曜を除く)

テーマ1「日野の四季」

テーマ2「わが家の緑」

### 春の草花管理講習会

平成24年2月9日(木)開催予定

春の草花の育て方や管理方法などの基礎や知識を学びます。質問コーナーでは、皆さんの疑問に講師の先生がお答えします。

講師：濱田 豊氏(NHK「趣味の園芸」講師)

\*詳しくは「広報ひの」1月15日号をご覧ください。

### ガーデニング講習会

平成24年3月15日(木)開催予定

ガーデニングの基礎を学んで、楽しく庭作りをしてみませんか!?

講師：大塚真実氏(グリーンアドバイザー)

\*詳しくは「広報ひの」3月1日号をご覧ください。

### 第10回「スプリングフェスタひの」

平成24年3月下旬開催予定

開催場所：日野中央公園

主催者：スプリングフェスタひの実行委員会

(財)日野市環境緑化協会

\*詳しくは「広報ひの」3月15日号をご覧ください。

### 編集後記

当協会では公園、公共施設などの花壇に植え付ける花苗や市民一般(小学生を含む)に育てていただき、ポットマム・スプレー菊苗等の栽培を行い、公民一体となって「まちの緑化」に取り組んでおります。今後も次世代に引き継げるような緑化推進事業に努めてまいります。【K・E】



### 日野中央公園の花々

市役所近くにある日野中央公園には四季折々、色々な花が咲いています。

小さな草花を探してみてください。

カタクリ



ススキ



シュウメイギク



ホトトギス

